宇部幸楽苑広報紙

幸楽苑だより

5月号

発行元：介護老人保健施設 宇部幸楽苑
発行日：令和６年５月１日
TEL 0836-51-3113　FAX 0836-51-5522

『挑戦し続けること』

宇部幸楽苑　理学療法士
永久　晃

世の中には『挑戦』し続ける人達がいます。何歳になっても『挑戦』を諦めない人達が世界中にいます。それはスポーツや学術研究、芸術分野やはたまた一般人には少し理解しがたいマニアックなギネス記録等、あらゆる分野に於いて、挑戦し続ける人達がいます。

私も然り、この度78年ぶりに研究計画を練り、全国老健での学会発表へ挑もうと準備を進めているところです。齢48歳を迎える私ですが一般的なアダルティな大人な方達と違って短絡的で自己中心的な部分が強いのですが何故かチャレンジ精神だけは未だ衰えることはありません。

こんな私が学生時代に出会った『挑戦することを数学的に分析』した単純で面白いコラムがあるので紹介したいと思います。まずは前提知識として、確率の掛け算について紹介します。**1つ目の物事が起こる確率がａ、2つ目の物事が起こる確率がｂであるとき、両方起こる確率は$a \times b$という式で計算することができます。**

この考えを念頭にこれからいよいよ本題である『挑戦することを数学的に分析』の中核に迫って参りたいと思います。成功率が20％の物事に取り組むことを考えてみましょう。一体何回挑戦すれば「全部失敗する確率」をほぼゼロに近づけれるであろう…たとえば10％以下にすることができるのでしょうか？50回でしょうか。100回でしょうか。予想してみてください。（ただし、1回目に失敗したから2回目も失敗しやすい、ということはないものとします）まずは2回挑戦した場合を考えてみましょう。1回の挑戦で成功する確率が20％、裏を返せば失敗する確率が80％なので、2連続で失敗する確率は0.8×0.8=0.64、つまり64％です。次に、3回挑戦した場合、全部失敗する確率は0.8×0.8×0.8=0.512、つまり51.2％となります。次に、4回挑戦した場合、全部失敗する確率は0.8×0.8×0.8×0.8=0.4096、つまり40.96％となります。

勘の良い方なら、もう皆まで言うなって感じですよね！

5回、6回、7回…と挑戦回数を増やした場合…

・5回：0.8を5回掛けて約0.33
・6回：0.8を6回掛けて約0.26
←※省略
・10回：0.8を10回掛けて約0.11
・11回：0.8を11回掛けて約0.09

それぞれ、33％・26％・11％・9％です。

というわけで、成功率が20％のような難しい物事でも、11回挑戦すればほぼ確実に成功できるということがわかりました。

新年度に突入して、今年度はこんなことに挑戦してやろうと思っている方、はたまた何かをやってみたいけどその場で足踏みになってしまっている方々の背中を押せるような記事になる事を願っております。お互い『Never Give Up!』の精神で頑張っていきましょうね！

「花見散策に出かけてきました！」

理学療法士　永久　晃

春爛漫の候、皆様いかがお過ごしでしょうか？大変過ごしやすい季節となり、『お花見や』『行楽』に出掛けた方も沢山いらっしゃったことだと思います。私個人としては『花よりお酒！』ってことで花の全く咲いてない桜の木の下で三月末尾に花見をしてきました。

さて当苑恒例の花見散策はそうもいかず、入所者の皆様に満開の桜を目に焼き付けて戴きたく、幹事の私は毎日のように気象庁の開花予想や六百度の法則等の情報に耳を傾けておりました。

そんな甲斐と入所者の皆様の日頃の行いの良さが功を奏したのか今年の桜は『休眠打破』もなんのその、大変『お寝坊さんの桜達』でした。それでは左記にてその様子を写真にてお楽しみ下さい。

「徒然なるままに…」

介護福祉士　内田千絵

私の祖母の家にはデイサービスで作った作品がいっぱい飾ってあり、工作や手工芸が好きなようです。私も手工芸が好きなので、暇な時には祖母の家で一緒に作品を作っています。

今度は一緒に何を作ろうか、祖母が細かい作業はどこまでできるか、難しいものでも一緒なら作れるだろうかと考えながら見本を製作中です。祖母と一緒に作るのが今から楽しみです。写真はつまみ細工の花とフェルトで作った花です。

《基本理念》

私たちは介護・医療提供者として、常に、地域社会における利用者並びにご家族の立場に立って考え、最善の行動とサービスの提供を致します。

《運営方針》

1.常に笑顔で誠意のある対応を心掛けます。
2.説明と同意の実践に努め、納得いただける施設サービスを実施致します。
3.人権を尊重し、入所者様・ご家族と共に職員が一丸となって自立生活の支援を致します。
4.個人の尊厳とプライバシーの保護に努めます。
5.疾病や障害の予防と適切な施設サービスを提供致します。
6.地域社会と連携して質の高い施設となるよう努力し、職員は日々研鑽に努めます。